

日本インドネシア国交樹立 60 周年

日本とインドネシアは 1958 年に国交が樹立され、今年、国交樹立 60 周年を迎えます。日本はこれまでに、インドネシアの社会や経済の発展を実現するために必要な資金や技術の提供、あるいは、災害被害を受けた人々を救済するための支援など、さまざまな形でインドネシアに対する援助を行っています。また、自然資源の供給や、近年は留学・観光の分野においてインドネシアは日本にとって欠かせない重要なパートナーでもあります。政治や経済だけではなく人道や自然災害などの面での相互扶助関係や、更には文化・観光・教育の分野においても両国の関係が強まっているのがわかります。今回は、日伊国交樹立 60 周年記念にちなんで、経済・文化の分野における両国の関係性など、改めご紹介させていただきます。

経済分野

1 インドネシアへの日本の ODA プロジェクト無償資金支援

これまで日本はインドネシアに対し様々な支援を行ってきました。農業生産性を高める未灌漑農地における灌漑用施設の設備を行うプロジェクト、アジア通貨飢饉に伴う貧困対策プロジェクトなど生活レベルの向上を目的とした計画や、初等・中等理数強化教育改善プロジェクトなどの教育水準を高める計画、そして火力発電所建設プロジェクトや多目的ダム貯水池建設及び地方水道設備の整備プロジェクト、橋梁改修などインフラ関係のプロジェクトなど多方面にわたり行ってきました。

現在行われている無償資金支援プロジェクトの一つとして、テロ対策分野におけるプロジェクトがあります。その背景には暴動が多発していた 1990 年代後半から 2000 年初期に比べ、近年は治安が良くなり落ち着いてきている傾向にあるものの、IS など一部過激派宗教によるテロや政党関連の亀裂によるデモなどで、これまで死傷者を伴うテロ事件が多数発生している現状がいまだにあり、インドネシアにとってテロ対策は深刻な課題の一つとなっているということが上げられます。顔認証システム等の日本のテロ対策機材を提供することで、テロ対策分野における能力向上を図り、インドネシアの経済社会開発がより発展されることが期待されます。

その他、案件概要は下記外務省ホームページよりご確認ください。

(http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/gaiyou/odaproject/asia/indonesia/contents_01.html#m012503)

2 インドネシアへの日本の ODA プロジェクト有償資金支援

有償資金支援プロジェクトにおいても、インフラ設備の計画、水資源・ガス資源・火力資源や地熱資源分野における発電所の建設及び拡張プロジェクト、幹線鉄道の建設プロジェクトや、空港及び海港の新設や拡大プロジェクトなど、様々な支援を行い日系企業が活躍していることがわかります。

現在行われているプロジェクトの一つとして、パティンバン港の建設計画があります。経済の発展と共に、北ジャカルタにあるタンジュンプリオック港への貨物搬送量や交通が集中し、ジャカルタ中心部から工業団地へのアクセスが悪化し重大な問題となっていることがパティンバン港建設の背景にあります。パティンバン港建設により交通渋滞の改善が期待されています。パティンバン港はインドネシア国内では最大規模の国際貿易港となる予定で、2019 年 3 月に一部開港を目指し建設が進められています。(案件概要↓外務省ホームページ参照)

パティンバン港開発計画（第一期）		
E/N署名	平成29年度	
供与限度額（億円）	1,189.06	
供与条件	金利（%）	0.1%（コンサルタント部分は年0.01%）
	償還期間（年）／ うち据置期間（年）	40年（12年の据置期間を含む。）
	調達条件	日本タイド
事業概要	ジャカルタ首都圏東部パティンバンに新港（コンテナターミナル、カーターミナル等）を建設することにより、首都圏の物流機能強化を図るもの。	
裨益効果	この計画の実施により、2024年（事業完成2年後）には、パティンバン港のコンテナ貨物取扱量は800,000TEU／年（TEUとは、海上コンテナ貨物量を表す単位であり、1TEUは、20フィートコンテナ1個分を表す。）、完成車取扱量は360,000台／年となり、首都圏の物流機能が強化され、インドネシアの投資環境改善を通じて更なる経済成長に貢献することが期待されます。	

その他、案件概要は下記外務省ホームページよりご確認頂けます。

(http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/gaiyou/odaproject/asia/indonesia/contents_02.html#2902)

文化分野

日伊国交樹立 60 周年に記念し、両国の歴史を振り返るとともに将来の両国の更なる友好関係の構築を目指し、「日本インドネシア国交樹立記念事業実行委員会」が設立されました。現在、双方向の交流を促進する目的で、日伊国交樹立 60 周年の趣旨にふさわしい政治・経済・社会・教育・スポーツ・化学技術・文化芸術・観光など幅広い分野において日本とインドネシアの間の交流や相互理解の促進、日本文化・インドネシア文化の紹介を目的とする事業を広く募集しています。事業認定基準等詳細は下記外務省ホームページよりご確認頂けます。

(http://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea2/id/page23_002302.html)

また、日伊国交樹立 60 周年記念特設サイトも開設されました。(<https://www.60jpid.com/>)

既にいくつかのイベントが開催されていますが、インドネシア国内においては、2018年1月19日(金)には日本インドネシア国交樹立 60 周年記念のオープニングイベントの一環として、両国の政治関係者や日本インドネシア国交樹立記念事業実行委員会関係者の参加のもと、コタのファタヒラ広場において日本とインドネシアの文化を紹介するプロジェクションマッピングが投影され、また、今年試運転が始まる MRT（都市高速交通）のイメージも紹介されたようです。その後も主要都市においてイベントが引き続き開催されました。

インドネシアのテレビ局では、日伊国交樹立 60 周年を記念して、両国の友好関係や日本の文化を紹介する事を目的としたテレビ番組が放送されます。

日本国内でも、60 周年応援団となっている劇団 en 塾の公演や、日本インドネシア市民友好フェスティバル 2018 などが予定されています。日本国内でのイベントは、現在外務省で募集を行っています。

【劇団 en 塾公演 ～殿様の宴～】
日時：2018年3月29日(木)18:30～ 会場：東京(江戸川区総合文化センター)
日時：2018年4月3日(火)18:30～ 会場：大阪(吹田市文化会館メシアター)

【第9回日本インドネシア市民友好フェスティバル 2018 in 代々木公園】
日時：2018年10月20日(土)～21日(日) 会場：代々木公園イベント広場
※出店申請者受付中(2018年7月まで)

この記念すべき国交樹立 60 周年記念をきっかけに、両国の絆がより強まり、政治・経済・文化など幅広い分野において益々盛り上がりが見込まれます。

以上

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク (PT. JC内) 概要★

所在地：Rukan Tanjung Mas Raya Blok B-1 No. 29

Jl. Raya Lenteng Agung, Tanjung Barat, Jagakarsa,
Jakarta Selatan 12530 INDONESIA

デスク担当者：PT. JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています(岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。また、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)(電話 086-226-7365)までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。